

CASBEE[®] - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 (使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2016(v2.1))

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)山陽株式会社本社工場再編	階数	地上2F
建設地	大阪府八尾市宮町3丁目	構造	S造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	0人
地域区分	5地域	年間使用時間	0時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年8月 予定	評価の実施日	2018年11月9日
敷地面積	10,139 m ²	作成者	西田工業株式会社 大阪支店
建築面積	3,007 m ²	確認日	2018年11月15日
延床面積	5,642 m ²	確認者	西田工業株式会社 大阪支店



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 2.9

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	省エネ・省資源に可能な限り取り組み、空間のゆとりなど将来に向けてフレキシブルに対応可能な計画とした。	その他 特に無し
Q1 室内環境	特に無し	Q3 室外環境(敷地内) 周辺に開けた建物となるように、建物周辺には緑化を積極的に確保した。また、道路から極力距離を設けて建物を計画することで、圧迫感を与えない建物となるように配慮した。
LR1 エネルギー	建物内設備にはLED照明等、高効率設備を採用することで、建物内から発生するエネルギー量の低減に努めた。	LR3 敷地外環境 建設に伴って発生するCO ₂ の発生量を低く抑えることで、地球温暖化に配慮した。また、燃焼機器を採用しないことで、大気汚染防止に付与した。
Q2 サービス性能	壁長さ比率を低く設定することで、将来に向けてフレキシブルにプラン変更等に対応可能な建物となるように配慮した。	
LR2 資源・マテリアル	使用部材には、グリーン購入法に該当する製品を積極的に採用することで、環境負荷を低減するとともに環境保全に配慮した。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H30-0104

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】		建物名称	(仮称)山陽株式会社本社工場再編計画工事					
		建設地	大阪府八尾市宮町3丁目37、37-3、37-4、39、40、41、42 宮町4丁目69、82-1、82-2、88、88-2、92、93、94-2					
		用途/区分	工場					
【評価結果】		CASBEE 総合評価	★★★★★			B-		
①	CO2削減		★★★★★			3		
②	みどり・ヒート アイランド対策		★★★★★			2		
③	建物の断熱性		★★★★★			評価対象外		
④	エネルギー削減		★★★★★			2		
⑤	自然エネルギー直接利用					—		
		再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
			太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
エネルギー消費量の報告						報告しない		
【評価項目】								
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.1	3	
② みどり・ヒートアイランド対策								
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				2.0	2	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				3.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				2.0		
③ 建物外皮の熱負荷抑制		CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価					-	
④ 設備システムの高効率化		CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				2.3	2	
⑤ 自然エネルギー利用		CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	—	
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
その他								
		技術の名称			考慮事項			
先進的技術の導入								
特に配慮した事項								